

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和05年06月23日(金)

事務事業		文化財保護事業		担当課	文化振興課	担当係	文化財保護係	管理番号	74111	
総合計画	大項目	2	次代を担う人と文化を育むまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					
	中項目	2	誰もが生きがいをもち学ぶことのできるまちづくり	根拠法令 個別計画等	深谷市文化財保護条例					
	小項目	3	郷土の歴史・文化の継承と活用							
	主要プロジェクト									
事業概要		文化財保護審議会の開催や文化財関係の会議、調整、文化財の指定や解除を行うものである。								
目的 ※何のために		文化財保護を目的とした審議会の開催や、文化財関係の会議、調整等を行う。また、文化財の指定や解除を行う。								
対象 ※誰・何を対象に		文化財全般の保護								
手段 ※どのように		文化財の保護と適正な管理をする。								
成果 ※何を求めるか		文化財の適切な保護を目指す。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input checked="" type="checkbox"/> その他（ 審議委員 ）								
事務事業を 構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額（円）		
		一般会計	10	教育費	5	社会教育費	5	文化財費	一般事務経費	87,922
本事業の 主な業務		・文化財保護審議会の開催					・			
		・文化財関係の会議、調整					・			
		・文化財の指定および解除					・			
		・					・			
		・					・			
		・					・			

2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画		文化財保護審議会の開催	文化財保護審議会の開催	文化財保護審議会の開催	文化財保護審議会の開催		
事業費	予算（現額）	207,000	210,000	210,000	210,000		
	決算額	140,921	87,922	0	0		
	財源内訳	国支出金	0	0	0		
		県支出金	0	0	0		
		地方債	0	0	0		
		他特定財源	2,050	1,950	5,000	5,000	
		一般財源	138,871	85,972	205,000	205,000	
人件費	従事職員数（人）	0.65	0.65	0.60	0.60		
	人件費相当試算※	5,115,213.00	5,206,608.00	5,016,540.00	5,016,540.00		
総事業費試算		5,256,134	5,294,530	5,226,540	5,226,540		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名	目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
実績値の算出式									
活動指標 1	文化財保護審議会開催回数	目標値	回						
		実績値		3.00	2				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		目標値は設定しない						
	実績値の算出式								
成果指標 1	市指定文化財数	目標値	件						
		実績値		249.00	248.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		目標値は設定しない						
	実績値の算出式								
成果指標 2	文化財の指定を行った数	目標値	件						
		実績値		1.00	0.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		文化財所有者の管理義務等から目標値は設定しない						
	実績値の算出式								
成果指標 3	文化財の解除を行った数	目標値	件						
		実績値		0.00	1.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		文化財所有者の管理義務等から目標値は設定しない						
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	文化財保護審議会を2回開催し、市指定文化財の解除・現状変更等についての調査及び審議を行い、市内所在の建造物を登録有形文化財への登録に向け、文化庁に登録候補物件の意見具申を行った。また、県及び文化財団体の会議等に参加し、文化財の保護や適正な管理に努めた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	市指定文化財の指定は0件、解除は1件で、市指定文化財数は248件となった。
			評価者 文化財保護係長 田邊 恵美

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	B	埋蔵文化財事務の効率を図るために、WebGISシステムに遺跡台帳を登録し、埋蔵文化財の管理を行っているが、紙台帳とWebGISシステムのデータに若干の差異が生じているため、今後も引き続き、WebGISシステムデータ入力及び管理方法について協議し、整合性を図る。
			評価者 文化財保護係長 田邊 恵美

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和4年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	文化財の保護・保全をするために、文化財保護審議会を開催し、文化財の指定や現状変更等の調査及び審議を行う。国・県・関係団体と連携を図り、今後も文化財の保護や適正な管理を行う。
達成状況及び その効果	文化財保護審議会の開催や県及び文化財団体の会議に参加し、文化財保護の情報共有が図れた。 また、指定文化財の見回りを定期的に行い、文化財の保護や適正な管理に努めた。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	文化財保護事業	担当課	文化振興課	担当係	文化財保護係	管理番号	74111
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		評価の内容説明					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		市の歴史と文化を伝える遺産を次代へ継承し、文化財の保護・保全をするために文化財の指定や現状変更等の調査及び審議を行う。さらに、国・県・関係団体と連携を図り、今後も適正に文化財の保護・保全を図る。					
		評価者	文化振興課長 吉岡 恵子				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和6年度に実施する 改善・改革案 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	文化財の保護・保全をするために、文化財保護審議会を開催し、文化財の指定や現状変更等の調査及び審議を行う。国・県・関係団体との連携を図り、今後も文化財の保護や適正な管理を行う。
令和7年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	文化財の保護・保全をするために、文化財保護審議会を開催し、文化財の指定や現状変更等の調査及び審議を行う。国・県・関係団体との連携を図り、今後も文化財の保護や適正な管理を行う。

8. 評価指標グラフ

区分	活動指標 1	指標名	文化財保護審議会開催回数
区分	成果指標 1	指標名	市指定文化財数